

オ - ラを発する人はいるもの

HPでも触れているメル友の看護師から、ガン患者やその家族の「在宅緩和ケア支援センター」の企画が、15年度の日本看護協会の『まちの保健室』というモデル事業に選ばれ、?百万円の助成もいただけることになったとのメ - ルをいただきました。

彼女の作成した企画書、趣意書も以前に見せていただきましたが、在宅のガン患者や家族への彼女の想いが伝わり、そのひたむきさに感銘を受けていただけに、凄く嬉しいニュースです。

「福祉って、究極的には人が動かすもの！」ということも、更に実感させられました。

また、「係わった方々のもつ問題に拘り続け、自分の立場で何が出来るかを思考し、結果はさておき、まずは努力し、行動する！」ことの大切さも改めて教えられました。

本当に、こうした我が身のことは二の次で、人を思い遣るひたむきな姿勢が、周りの支援を呼ぶというより、支援を呼び込むという不思議なオ - ラを発しているのですね。ふと気づくと我が周りに、こうしたオ - ラを発している方々が何と多いことか。「対象の方々に『今を輝いて生きましょう！』と語るなら、まずは自らがこうした方々と係わり合うことを喜びとし、自らがまず輝くように努めること！」が、大切ということですかね。

(2003年04月13日記)